

順位	氏名（議席）	発言の要旨
2	一条 義浩（２７）	1. 富士市立中央病院における経営の見える化・迅速化・専門化に向けた新たな体制整備について 富士市立中央病院は、本年度より地方公営企業法の全部を適用し、病院事業管理者が新たに設置されました。これにより、経営の専門性や迅速性を高め、持続可能な医療体制の確立に向けた体制強化が図られています。 一方で、本市においても医師不足や経営の悪化といった課題が深刻であり、「医療の質」と「経営の健全化」という２つの視点の両立が強く問われています。これを実現するためには、外部の視点を取り入れたガバナンスの強化に加え、医療人材の確保を含む人材戦略の再構築が不可欠です。 例えば、深刻な経営状況が続く北海道の江別市立病院では、公認会計士や金融関係者などで構成される第三者機関として経営評価委員会を設置し、診療体制の見直しや財務の健全化に取り組むことで、一定の成果を上げています。 本市においても、こうした先進的な事例を参考に、経営の見える化と意思決定の迅速化・専門化を一層進めるための体制整備を求め、以下の４点について伺います。 (1) 現在、病院事業管理者が病院長を実質的に兼務する体制となっていますが、この重責に対し、関係者はどのように支援し、地方公営企業法の全部適用の利点をどのように生かしていくお考えか伺います。 (2) 江別市が導入する経営評価委員会は、経営の透明性・客観性の向上に寄与しています。本市においても、同様の第三者評価制度の導入についての見解と今後の方針を伺います。 (3) 診療科別収益性分析の導入など、経営の見える化に向けた取組について、本市への導入の是非と現状を伺います。 (4) 経営の専門性を高めるには、事務部門での人材育成や外部人材の登用が不可欠です。これまでの取組と今後の方向性について、お考えを伺います。